

# 交換留学報告書

\* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイト等に記載いたしますので、予めご了承ください。

|       |       |         |            |
|-------|-------|---------|------------|
| 氏名    | 田中 美衣 | 学年(渡航時) | 4年         |
| 派遣先大学 | 台湾大学  |         |            |
| 国・地域  | 台湾 台北 |         |            |
| 派遣期間  | 2024  | 年 8 月 ~ | 2025 年 6 月 |

## 履修科目

| 1 学期目                |                           |
|----------------------|---------------------------|
| 履修科目                 | 授業内容                      |
| アジアの民主化              | 台湾をはじめとする東アジア諸国の民主化の軌跡と比較 |
| Exploring Taiwan(生物) | 台湾の地理や植物、生態系について学んだ       |
| Exploring Taiwan(歴史) | 台湾の歴史や古来の美術について学んだ        |
| 中国語                  | 中国語の語学授業                  |
| 2 学期目                |                           |
| 履修科目                 | 授業内容                      |
| 東アジアの経済              | 台湾をはじめとした東アジアの経済情勢        |
| 心理学                  | 心理学入門、心理学の基礎              |
| 中国語                  | 中国語の語学授業                  |

## 留学レポート(1,500 字以上)

2024年8月から2025年6月までの約1年間、私は台湾の国立台湾大学に交換留学をしました。台湾大学は、台湾国内における最高学府として知られており、東アジア地域研究や語学教育にも定評のある大学です。東アジアの政治・経済、語学、文化に関心のあった私は、この留学を通じて、教室での学びにとどまらず、現地での体験を通じて生きた知識を得ることを目指していました。

学業面では、「東アジアの民主化」「東アジアの経済学」「中国語」「Exploring Taiwan(台湾探訪)」等の科目を履修しました。いずれの授業も非常に興味深かったのですが、特に「東アジアの民主化」では台湾・韓国・日本などの政治体制の比較が行われ、各国の民主化の経緯と現在の課題について深く学ぶことができました。元々、私は長崎大学で台湾の同性婚法制化をテーマに研究を進めており、その過程で台湾の民主化について学ぶ機会がありました。長崎大学で学んだ知識をベースに台湾大学でより知識を深められたことに、留学の意義を深く感じました。

この他にも、「Exploring Taiwan」という科目では、実際に現地の博物館や文化施設を訪れるフィールドワーク等を通して台湾の歴史・社会・文化を多角的に学びました。教室の外で台湾の人々や文化と直接ふれあうことで、教科書或いは日本では得られない深い理解が得られました。

学業以外の面では、大学のサーフィンサークルに加入し、現地の学生との交流を深めました。週末にはメンバーと一緒にビーチへ出かけたり、合宿に参加したりする中で、言葉や文化の壁を越えた友情を築くことができました。加えて、台湾大学は国際学生向けの交流イベントやサポート体制も充実しており、学内では常に誰かが気にかけてくれる環境が整っていたことに感謝しています。

台湾での生活を通じて感じたのは、現地の人々の温かさと日本に対する親しみでした。私が日本人であること

を伝えと、アニメや食文化、旅行などの話題ですぐに打ち解けることができ、多くの友人を作ることができました。言葉が通じにくい場面もありましたが、身振り手振りや簡単な中国語を使いながらのコミュニケーションは、語学を学ぶモチベーションにもなりました。

この留学を通じて、私は多くのことを学びました。まず、語学力の向上だけでなく、異文化の中で柔軟に適応する力や、自分の意見を相手に伝える表現力が磨かれました。また、異なる文化的背景をもつ人々と共に生活する中で、物事を多角的にとらえる視点が身につきました。さらに、日本という国を外から見つめ直す機会にもなり、自国の文化や社会についてより客観的に考えるようになりました。

将来的には、今回の留学経験を生かして、アジア地域における国際協力や文化交流に関わる仕事に就きたいと考えています。台湾で築いた人脈や学びを大切にしながら、国と国、人と人をつなぐ架け橋のような存在になれるよう努力を続けていきたいです。

この1年間の留学は、私の人生においてかけがえのない宝物となりました。迷いや不安もありましたが、そのすべてが自分を成長させる糧になったと感じています。最後に、支えてくださった家族、指導教員、現地のスタッフ・友人たちに深く感謝の意を表します。

留学中の写真(5枚程度) ※写真のキャプションも入れること



サーフィンサークルのキャンプでの一枚



日本が大好きな友達言語交換をした日の一枚



中国語の授業のクラスメイトとの一枚



台湾大学の正門



有名な台湾料理店で一枚